

授業と集団づくり連続講座

ポイントを示し

動物の動きや身体を観察する

11月10日、天王寺動物園で第2回「授業と集団づくり連続講座」を開催。若手の教職員を中心に約30人が参加した。

「動物園へ行こう」と題して、森山康浩さん(子ども情報研究センター代表理事)が早朝よりコアラやワニといった子どもたちになじみのある動物について解説した。

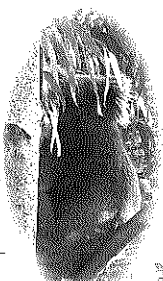
活発に動く動物を見せたのなら早朝に子どもたちを動物園に連れてくる必要がある。入園してすぐにコアラを観察したのだが、森山さんが解説する間もなく、コアラが木を登る姿を見ることができた。近くにいる警備員さんが「こんなに動いているコアラを見られる

ことは、とても珍しい」と参加者に声をかけていた。

参加者も「こんなに素早く木登りする動物だとは思っていません」と驚いていました。早朝から見学に来たからその出来事だった。

その後は、ワークシートに動物への質問を記入し、その質問に森山さんが答えるながら、動物園を巡った。

ワークシートに書かれた素朴な質問から、動物の動きや生態に興味をもつことができた。「蛇はどこからしつばなのか?」という森山さんからの問いかけに、参加者が一堂に首をひねっていた。森山さんから「肛門から後ろがしつば」と解説していただき、その後、ワニのしつばを観察した。参



「だらっとした雄ライオンの様子が見られるのは動物園だけ!」と語る森山さん

高校生平和大使報告会

歴史を繋ぐ

11月10日に「第21代高校生平和大使報告会」がたかつガーデンで行われ、今井さん(第21代)、佐藤さん(第20代)、安野さん(第19代)の3人から、活動報告があった。

まず、本年度の平和大使・今井さんから、ジュネーブでの活動の様子が報告された。軍縮局を訪問した際には、平和大使全員がスピーチを行い、平和についての思いを伝えた。トロワゲン州立高校の学生たちとは、「平和な世界とは?」などの内容で交流を行った。自分のもつ平和への思いを伝えたこと、たくさんの国の人の意見を聞くことが、今回の訪問の大きな成果だったと笑顔で話した。

次に、佐藤さんからは、昨年度の活動についての報告があった。多くの国の人たちの前で話すことができたことは、とてもいい経験となったが、自分の考えを相手に伝えることの難しさや、どの国の人たちも「みんな平和を願っている」ということを肌で感じることができたという感想を語った。

高校生平和大使カレンダー販売中。活動を支えるために、ぜひ購入を!



お問い合わせは各単組へ。

日政連：第25回参議院選予定候補者 みずおか俊一さんに聞いてみました!④



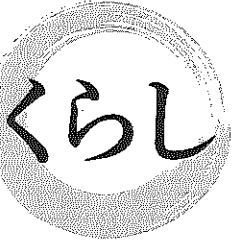
Q: 日政連議員団は、これまで男女同一賃金、産休代替法、育児休業法の実現に貢献しました。スクールセクハラを含むセクハラ禁止法や選択的夫婦別姓、人間的らしい生活ができる働き方改革は当面の課題です。これらの課題についてはどのように考えておられますか?

A: 性暴力の防止や対策に関しては、是非、法律の形で実現をすべきだと思います。夫婦別姓は、社会的な問題として考えたい。これらはともに国際的には、恥知らずな日本の姿。マスコミはきちんと報道しない、外務省は国会に報告しないというところが、人権の問題において日本の常識は世界の非常識であることを国民に知らせたい。

日本の常識は世界の非常識?

人権課題に真っ向から

とりくみます



参加者の感想

先や爪の部分だけで走っていると聞き、「馬の蹄は、爪の部分だったのか」と動物の身体について興味を持った参加者の声があった。

体は注目したり、動作に気づけなかったり、ただ眺めるだけとは違う見方ができた。慰霊碑の前で子どもたちが「戦争ってひどいね」とつぶやいていた。そのような話に触れることも大切だと感じた。

組合員100人 増やそう運動展開中!



自分たちの未来を
他人まかせにしない
だから組合

第25回退職教職員いきいき作品展

毎年恒例の「いきいき作品展」が、11月13日から15日の3日間、たかつガーデン8階で開催された。書、絵画、写真、工芸、手芸など284点の作品が出品。藍染めや絵手紙といった繊細な作品から、1メートルを超えるような大きくて迫力のある作品まで、多種多様な作品が展示された。各



心豊かな文化の薫り

最後に、安野さんからは、ハワイ訪問の様子が報告された。日本の加害の部分を知るためにハワイを選び、どの場所をめぐるか、また、どんな人から話をきくのかを自分たちで考え、平和活動を行った。現地の小学生に報告を行うなど、自発的に活動する中で、「一生、平和活動にかかわっていきたい」という気持ちが芽生えたという言葉に心強さを

感じた。

たくさんさんの署名、カンパのおかげで、今年度の高校生平和大使の活動を無事に終えることができた。

つくり出された素晴らしい作品の数々、また社会の問題に対して意識的に学び関わり続ける活動の報告に退職後の人生も現職の時とかわらず、生き生きと自分の人生を生きておられる様子が伝わってくる作品展となった。

過日、第2回
ニューリーダー
学習会を開催し、
解放共闘の意義
について、参加
者で確認した。

これまでの解放共闘運動の歩みをあらためて感じた学習会だった。12月4日は、同和教育における対府要求の日。組合員の積極的な参加で、現場の実態と意識を共有したい。(山)

すべては子どもたちのために